



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とての かふち

《学校だより》 第15号

令和2年11月18日発行

湯河原町立湯河原小学校

校長 北村和裕

この頃、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大状況が、連日頻繁に報道されるようになりました。冬に向かいますので、加湿、換気がキーワードとなっているようです。学校でも、手洗い、マスク、ソーシャルディスタンスはもちろん加湿や換気にも気を配りながら、感染症対策を徹底していきます。また、このたびPTAより加湿機能付き空気清浄機を購入していただきました。高性能で運転していても音が静かです。具体の悪い子が過ごす保健室で使わせていただきます。本当にありがとうございました。



昼休みのお話会

11月10日(火)の昼休みに、読み聞かせボランティアの『おはなし「わん：わんわん」』の方々にご来校いただき、本の読み聞かせを行っていただきました。本が大好きな子たちが集まり、真剣に聞いていました。次はこうなるのでは・・・と予想しながら聞いている子もいました。

おはなし「わん：わんわん」は、もう十年以上も活動を続けており、本校でも読み聞かせに関わっていただいています。今年はコロナ禍で、今回が初めてのお話会となってしまいましたが、これからも子どもたちのためにお願いしたいと思っています。



国際理解教育教室

3年生は、年間4回ほど、国際理解教育教室を実施しています。講師は、地域にお住まいの本山さんです。今年のテーマは「南米の文化、生活について」で、ペルーの人々の暮らしや言葉などをとても丁寧に伝えていただきました。

「おはよう」は「ブエノス ディアス」、「こんにちは」は「ブエナス タルデス」と発音するそうです。スペイン語と日本語との違いや挨拶の言葉でも微妙に違う「ブエノス」と「ブエナス」の発音に、子どもたちはなんだか不思議そうな顔でした。

外国の文化や外国語に親しむとともに、世界の国々に目を向け、国際理解感覚を豊かにしてほしいと願っています。



がんばっています！教育実習生

11月2日から11月27日までの4週間、2人の大学生が教育実習を行っています。遠藤さんと大野さんで、2人とも本校の卒業生です。遠藤先生は3年2組、大野先生は4年2組で担任の先生やクラスの子どもたちと毎日関わり、やる気に満ちあふれながら実習を進めています。

初めのうちは、教室の後ろで担任の動きや子どもたちの様子を観察していました。また、他の先生方の



算数の指導：遠藤先生

授業を見て学んでいました。今週あたりからは、教室の前で子どもたちに指導する場面も増えてきました。最後の週は「全日経営」といって朝の会から1日の授業、給食や掃除、帰りの会まで実習生が中心となって進めていく日もあります。

「未来の先生」として教員を目指し、一生懸命に活動する2人を、先生方も子どもたちも心から応援しています。



習字の指導：大野先生